

研修だより

平成31年1月9日

No. 18

生保内小学校 研修部



☆2019年、節目の年が始まりました…☆

平成最後という言葉がたくさん聞こえた年末年始でしたが、2019年がスタートしました。

年末の「研修アンケート」の提出、また「生活科・総合的な学習の時間の指導に関わる資料」の整理（データ・ファイルでの保存）等、大変ありがとうございました。

*まだの先生・学年は、次年度以降のために整理等、お願いします。

さて、冬休み明けはスキー教室等の行事もありますが、落ち着いて学習や生活ができる期間であるかもしれません。学習進度や4月からの子どもの変容の確認、学習状況調査の結果分析等を通して、「できていること」「できていないこと」などを確認しながら、年度末を迎えたいと思います。

◇1・2月の研修◇

1 2月の研修計画（研修日・出張等）

期 日	曜日	研 修 名 ・ 内 容
* 1月22日	火	「確かな学力」向上推進協議会（浅舞公民館）
2月5日	火	教育課程研究指定校事業研究協議会（東京）
2月20日	水	全体研修会（プログラミング学習についてを予定） * 授業参観？ 体験？
2月中		園小連携推進会議⑤（スタカリの確認・年度末の振り返り等） （だしのこ園）
2月中		生小応援団実行委員会（年度末反省）

2 学習指導

① 1月の目標

2019年スタート！ ～新しいめあてを立てて、学習に取り組もう！～

② 具体的な取組

「考える力（思考力）」、「伝える力（表現力）」の向上のための取組

* 学習状況調査やC R T検査の結果等の分析を通して

① 2月の目標

ふりかえりを通して、毎時間の学習での成長を確かめよう！

② 具体的な取組

「振り返る力」の向上のための取組
～教科の特性，視点を絞った振り返りの充実などを通して～

☆ 重点実践事項とその例

I 振り返りの時間を確保する。

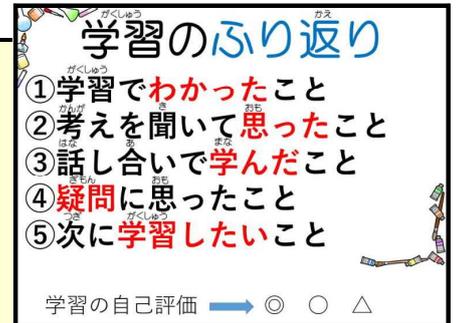
- ・これまでの授業の流し方を振り返り、削るところはないか確認する。

II 振り返りの内容を精選する。

- ・右の掲示物を活用しつつ、新たな視点を与え、焦点化を図る。
- ・振り返りにつながる「めあて（課題）」の設定を見直す。

III 振り返りの生かし方を考える。

- ・何人か発表させるだけでなく、隣同士で振り返りを見合い、互いにコメントを書き合ったり、振り返りに書かれた内容を基に、次時の授業をスタートさせる。



【研修アンケートより】

- 視点を明確に提示した振り返りが多く行われており、子どもたちにとっても多くの気づきが生まれる振り返りになっていると思う。
- 子どもの変容や成長は、見取ったらすぐに伝えることが必要だと感じた。他者から認められる経験を重ねると、他者を認める能力が高まっていく。活用も同じように「今まで○○で身に付けた力を使っているね」と気付かせることが重要であると思う。

↓

- ▲振り返りの表記がなかなかレベルがあがらなかった。理由には、何を振り返るのが分からないことと、文章に表現するのが苦手ということもある。話し言葉を大事にしながら、振り返りのポイントをもっと丁寧に押さえるべきだった。
- ▲一時間ごとの振り返りがうまく行えなかった。単元の最後の振り返りは観点を示しつつじっくり書かせた。子どもたち同士で振り返りを共有するなどの工夫が必要だったのかもしれない。
- ▲グループ活動で出された子ども同士での話し合いの結果を全体で伝え合ったが、さらにグループや個に戻して振り返る場を十分にとれなかった。
- ▲各教科等においても、引き続き、振り返りを大切にした学習過程、活動を振り返る時間的ゆとりのある学習を積み重ねる必要がある。
- ▲総合同様、毎時間の継続的な振り返りがなかなかできなかった。一時間ごとの授業の進め方を見直すなどして、振り返りの時間を確実に確保できるようにしていきたい。

3 そのほか（お願い・確認等）

- **学習状況調査の結果分析とそれをもとにした対策の立案（文書での提出） * 4年生以上**
ほぼ例年通りの形式になっていますが、後日、子ども一人一人ごとや学級全体の結果や、県との比較を表した一覧等を配付しますので、結果の分析と対策の立案をお願いします。
* 立案した対策の実践もありますので、2月上旬（9日）を目処に提出をお願いします。